

## 教育委員会会議録要旨 (令和5年第1回)

定例会	日 時	令和5年1月10日(火) 午後1時30分
	場 所	明石市役所分庁舎 4階教育委員会室
出席者	委 員	北 條 英 幸            教 育 長 橋        幸 男        委 員 柏 木 輝 恵        委 員 橋 本 彰 則        委 員 川 本 まり子        委 員
	事 務 局	村田局長 田辺室長 新田次長(給食担当) 小島学校教育課長 三ノ浦総務担当企画総務担当係長 石井青少年教育担当青少年育成担当係長 赤堀学校教育課主幹兼保健体育係長

## 次 第

### ○報告事項

1. 「明石市はたちのつどい 2023」の実施結果について
2. 中学校部活動の地域移行の取組について（案）

### 開催

（北條教育長）

それでは、ただいまから、令和 5 年第 1 回定例会を開会します。

本日の署名委員は、川本委員をお願いします。

それでは、本日の審議を始めます。

本日は、報告事項のみになります。報告事項 1. 「明石市はたちのつどい 2023」の実施結果について、報告をお願いします。

（田辺室長）

「報告事項 1：明石市はたちのつどい 2023」の実施結果について、ご報告いたします。委員会資料をご覧ください。

項番 1、開催日時でございますが、昨日、令和 5 年 1 月 9 日に、第 1 部を 10 時から、第 2 部を 14 時からの「2 部制」で開催いたしました。

項番 2、開催場所でございますが、明石市民会館 大ホールと中ホールで実施いたしました。

項番 3、来場者数でございますが、第 1 部は 887 人が来場され、そのうち 577 人が市民会館に入場され、第 2 部では 761 人が来場され、495 人が市民会館に入場されました。

合計で 1,648 人が参加され、対象者全体に対し、約 60%の方が参加されたこととなります。

項番 4、開催状況でございますが、例年と比較しても、非常にスムーズに進行することが出来ました。実行委員による司会や、代表者による誓いの言葉のほか、恩師からのスライドショーの上映など、計画通りに式典を進行できました。

また、今年度も2部制とし、市民会館に入場する方のみに案内状を提示していただくよう受付を簡素化したことで、特に混雑することなくスムーズな誘導が行えました。

最後に、酒類を持ち込もうとする方が数名いましたが、従事者が事前に制止したことで、会場内で飲酒や喫煙のほか、式典を妨害する行為もなく、けが人の発生もありませんでした。参考までに当日の写真を次のページに付けております。報告は以上でございます。

(北條教育長) 昨年4月に、成人年齢が18歳に引き下げられましたが、明石市は「はたちのつどい」ということで、20歳の方を対象に実施しています。何かご意見やご質問などはありませんか。

(橋委員) 参加した方たちの意見を聞かれることはあるのでしょうか。式典は30分で終わっていますが、「せっかく準備をして参加したのに、式典が短い」というようなご意見などは無かったのでしょうか。

(田辺室長) 毎年、20歳代表の実行委員がいろいろ考えながら、式の内容を決めていくのですが、今のところ、時間に関するご意見は聞いておりません。実際来られても、式典の会場には入らずに、同窓会のように会場前の外で談笑されている方も結構いらっしゃいます。その点では、長すぎず、短すぎない適当な長さであると考えています。

(柏木委員) 来場者が対象者の60%ということなのですが、例年に比べてどうなのか、傾向等があるようでしたら教えてください。

(田辺室長) 昨年度と比べますと、まず対象者が70名ほど減っております。2022年は対象者のうち約70%の人が参加されています。数値で見ますと10%程度減少しているということになりますが、昨年度は、コロナ禍の中、濃厚接触者になられた場合、通知をする必要性がありましたので、受付で、参加者個人を把握しておりました。しかし今年は、国からの緩

和の通達を受け、受付時の混雑を避けるために、しっかりした人数は取らないという従来の形に戻しました。案内状を回収していますので、市民会館入場者の数はきちんと把握できています。この数字を逆算し、概ねの数を出しております。実際のところは、それほど大きな変化はないと考えております。

(北條教育長)            ということは、この 887 人というのは、実際に数えていないということでしょうか。

(田辺室長)            こちらは、市民会館入場者の数と、昨年度の来場者のうち 65%程度が市民会館に入場したという数値で逆算したものです。

(川本委員)            入場者は実数をカウントした方が良いのではないかと感じました。

(田辺室長)            入場された人数はしっかりと数えているのですが、来場されていないながら、石畳などに留まるなどして、市民会館に入場されていない人数が割り出した数になります。

(川本委員)            ありがとうございます。今後のために伺いたいのですが、酒類を持ち込もうとするというのは、「お酒」ということが目に見えるような形で持ち込もうとされたのですか。

(田辺室長)            今回もそうでしたが、よくありますのが、近くのセブンイレブンでお酒を買って、それをラッパ飲みしながら来るとような場合です。

(北條教育長)            総体的に落ち着いた形ですね。テレビで放送されているような混乱は、明石ではここ数年はないですね。

次に、報告事項 2「中学校部活動の地域移行の取組について（案）」について、説明をお願いします。

(小島課長)            報告事項 2「中学校部活動の地域移行の取組について（案）」について、ご説明いたします。

私からは、「中学校部活動の地域移行の取組について」報告させていただきます。座って説明させていただきます。

8月23日の教育委員会で「中学校部活動の地域移行について」報告させていただきました。本日は「中学校部活動の地域移行の取組について」資料に沿って報告させていただきます。

「1 検討体制」でございます。「部活動のあり方検討委員会」は2018年に設置し、生徒にとって望ましい部活動の環境づくりについて協議しております。「部活動との連携を考える会」は、こちらがこの度新たに立ち上げることになるものですが、関係機関と連絡調整を図りながら、部活動の地域移行に関する課題を整理するとともに、検討案を作成してまいります。

「2 スケジュール」でございます。今年度残り2022（令和4）年度と2023（令和5）年度の予定を掲載しております。

今年度につきましてはアンケートを実施する予定です。現状を把握しまして、今後の取組などを検討してまいります。

2023（令和5）年度につきましては関係課及び関係団体と連携し、課題について整理するとともに、令和6年度からの一部実施を目指した検討を行う予定です。「部活動のあり方検討委員会」は2回、「部活動との連携を考える会」は3回開催予定です。

「3 検討事項」は、主に4つあげています。

(1) 専門性の高い指導者の確保 です。指導者につきましては確保の方法、資格要件の整備、研修の実施等が考えられます。

(2) 運営母体のあり方 です。スポーツ関係団体及び文化関係団体との連携、学校施設の鍵管理等のセキュリティ体制、運営母体の体制整備等が考えられます。

(3) 競技種目ごとの実施方法です。参加費用の設定及び経済的に困窮する生徒への支援、総合体育大会等のあり方、クラブチームの参加資格等が考えられます。

(4) その他です。学校、生徒、市民への周知、広報等が考えられます。

2 枚目をご覧ください。参考として「アンケート調査の実施について」を掲載しております。

「趣旨・目的」ですが、関係対象者にアンケート調査を実施し、部活動の地域移行に関するそれぞれの意識を把握するとともに、今後の取組等を検討するための資料とするためです。

次に「対象及び質問内容」ですが、対象は小学校 6 年生、中学校 1 年生、2 年生の児童生徒及び保護者、中学校管理職、中学校教職員で考えております。質問内容等は現時点での検討中の内容ですので、今後、関係各課と連携し精査してまいります。

「方法」、「スケジュール」については、記載の通り行う予定です。

(北條教育長)

何かご意見やご質問などはありませんか。

(橋委員)

「2 スケジュール」の(2)令和 5 年度のところですが、令和 6 年度からの一部実施を目指した検討を行うというところですが、新聞報道などによると、少しゆっくりと検討しようということに変わってきたとありました。これについては、県や国から通知のようなものは来ているのでしょうか。

(小島課長)

委員がおっしゃられたように、「集中期間」というものが「推進」ということで文言が変わっております。国からそういったものが来ておりますけれども、令和 5 年度にいろいろ問題点を洗い出しまして、令和 6 年度はあくまで、できる競技や文化団体において、できるところ

からやっっていこうということです。

(橘委員)

「1 検討体制」に2つの委員会のことが書いてありますが、これは表現の問題なのかもしれませんが、上の「部活動のあり方検討委員会」は、「部活動との連携を考える会」が作成した、その検討案を審議、承認すると書いてありますが、恐らくこの会の役割は、これだけではないと思います。このまま言葉通りに見ますと、部活動の連携を考える会が案を作成して、それを検討するのが「部活動のあり方検討委員会」というように見えてしまうのですが、むしろ「部活動のあり方検討委員会」の方が主体になるべきものなのではないでしょうか。

これは表現上だけの問題なのか、それとも実際にこのような働きになるのでしょうか。

(小島課長)

表現上の問題にあたると思います。

「部活動との連携を考える会」については、その時はこの名称ではございませんでしたが、今年度の夏に一度開催しました。このたびの部活動の地域移行を進めるにあたりまして、関係機関、関係団体の方にも参加していただき、主に地域移行についての話しをします。そしてこの会で出た内容については、部活動を生徒のより良い活動の場にする為のものでありますので、検討委員会でも話をします。

(橘委員)

できれば、言葉の修正をお願いしたいと思います。構成メンバーに、「部活動あり方検討委員会」には構成メンバーとして「教職員代表」が入っているのですが、「部活動の連携を考える会」には、「関係団体代表 等」という言葉に含まれるのかもしれませんが、「教職員」という言葉が入っていません。アンケートを取られていて、中学校管理職や中学校教職員といった方々の意見を聞かれてはいるのですが、これで意見を聞いたとするのではなく、検討する会の中で、実際部活動に

携わっている教職員が、どのような意見を持っているかということは非常に重要であると思います。従って、これらの委員会の中の「教職員」という位置をもう少し重くしておくべきではないかという気がするのですが、いかがでしょうか。

(小島課長)

「部活動の連携を考える会」のメンバーにつきましては、教職員の意見というのは重要ですので、今後、状況によって、入っていただくということも考えております。関係機関である体育協会の中に、それぞれの競技があるわけですが、その中に教員が役員として入っている場合もございますので、教員の意見も勿論聞きながら、進めてまいりたいと考えております。

(橘委員)

アンケートの(2)③中学校教職員にありますが「担当部活動の有無」とありますが、実際に中学校の教諭で、部活動を担当していないということはあるのでしょうか。高等学校ではあり得ないことで、2つ、3つの部活動顧問をしていることが普通だったのですが、中学校の場合は、担当していなくても済んでいるような教員がいるのでしょうか。

(小島課長)

メインでされている方、サブの方、ごく少数ではございますが、ご自身、ご家庭の都合もございまして、部活動の担当をもっておられない方もいらっしゃると思いますので、「担当部活動の有無」という表現をしております。

(柏木委員)

「部活動のあり方検討委員会」は既に委員会が行われているということでしたが、明石市における部活動のあり方として、こういった方針がまとめられたのかというところをお聞かせください。というのも、中学校の部活動を競技種目として考えるのか、それとも生涯スポーツとして位置づけるのかということによって、今後の方向性が大きく変わってくるのではないかと思います。

私としては、競技ということになると、クラブチームがありますので、そちらに希望してもらい、学校の中での部活動は、障害スポーツ、楽しみとして体を動かしていくという方向にする方がいいのではないかと考えています。

そうすると、検討事項にあります「専門性の高い指導者の確保」ということ自体が必要ないのではないかと考えるのですが、その辺り、根本的にどういう位置付けで部活動を考えるのか、ということが、どのように検討されたのか教えてください。

(小島課長)

「部活動のあり方検討委員会」では、生涯に渡って、スポーツを楽しむ、健康のためのスポーツといったことが大事だということで、部活動は生涯学習スポーツに繋がるものというように位置付けています。

専門性の高い指導者につきましては、指導に関する要望がございますので、ご自身がその競技をしてこなかった場合、なかなか指導がしにくいということです。やはり、指導ができる方の確保は必要であるということで、各関係団体と連携しながら確保に努めたいと考えております。

(柏木委員)

検討事項に上がっている専門性の高い指導者というのは、どちらかというと、今の学校現場の先生方が困っていらっしゃる部分の解決、例えば練習メニューを考える、どういう方向性をもって部活動をしていくのかといったアドバイスが行える方ということで理解しましたが、今後、地域移行を考えていく中で、特に課題になっているのは、その担い手がどのくらいいるのかということだと思っておりますが、その担い手を増やしていこうとすると、指導に対しても専門的な高い知識を持つ方をたくさん集めるということは、現実的に難しいところ

ろがあるのではないかと思います。例えば、もう少し間口を広くして「趣味や、自分が楽しみとして行っていることを子どもたちにも教えたい」という風に言ってくださる方にも関わっていただき、練習メニューを考えてもらう方とは分けて「地域人材の活用」ということを考えていただいても良いのかなと思いました。

スケジュールで、令和5年度に休日部活動指導者の確保とありますが、まずは休日の地域移行を始めていくということが方針として決められているということなのでしょうか。

(小島課長) 将来的には平日も見据えています。おっしゃるとおり、まずは休日の指導者確保、休日の部活動地域移行ということです。

(川本委員) 今回新しく「部活動との連携を考える会」を立ち上げられたということですが、2023年度は「部活動のあり方検討委員会」が2回、「部活動との連携を考える会」が3回の開催を予定されていますが、教育現場の人材確保という課題があり、一刻も早く教員の働き方を変えていく必要があるなか、これで本当に間に合うのかと感じました。

また、「部活動のあり方検討委員会」と「部活動との連携を考える会」の2つあるのはややこしいのではないかと思います。一堂に集まって検討してはどうでしょうか。保護者も地域との連携について聞きたいだろうし、教職員も団体の方がどういったことを考えているのか聞きたいのではないかと思います。いかがでしょうか。

(小島課長) 「部活動のあり方検討委員会」は従来からございます。地域移行に関して話を進めるということで「部活動との連携を考える会」を作っておりますが、今後話を進めていく中で、どのようになるのかわからない部分もございます。一つにまとめるということも十分に考えられますが、まずは、話を進めるということが重要ですので、このような

形を取らせていただいております。

(川本委員) これらの委員会で何かの結論を出すと思うのですが、全く異なった結論が出た場合、どのように連携を取るのかということが心配です。

(小島課長) そのような齟齬がないように、連携を取りながら進めたいと考えております。

(柏木委員) 先ほど、休日の部活動から取り組むということでお話いただきましたが、そもそも休日に部活動をする必要があるのかというところも含めて検討していただきたいと思います。その為にも、アンケートをしっかりと実施していただくことが重要だと感じました。私自身は、一保護者として、勉強や、やらなければならないことが増えている子どもたちに、土日まで部活動をさせたいとは思わないのですが、他の保護者の方からどのようなニーズがあるのかというところをアンケートでは見ていただきたいと思います。休日に部活動をしなければならないということに囚われなくても良いのではないのでしょうか。

試合などがあるとは思いますが、そもそも休日の部活動を休みにすれば、毎週末練習をしなければいけないというイメージがあるために、先生方も大変ということになり、人材確保という話になっていると感じます。抜本的に根本的に今の部活動のあり方そのものを見直してもいいのではないかと思います。

(橘委員) 川本委員のご意見で、2つの委員会のことが出ておりましたが、どちらが中心になるのか、物事を決めていくのはどちらなのかということになると、「部活動のあり方検討委員会」の方だと思います。そのようなことを、しっかりと文章表現上書かれておいた方がいいのではないかと、対等の関係で、意見が違ったというような場合であっても、検討委員会が最終的な判断をくだすという、そういう委員会の構成であ

れば、それを書いておくというような、そういう姿勢で進めたらいいのではないのでしょうか。

もう一つ、検討事項に、「学校施設の鍵管理棟のセキュリティ体制」とあります。これも勿論大事だと思うのですが、この検討事項に書かれていない事柄で「部活動中の救急体制」或いは「保険に対する事柄」これらは、検討されるべきだと思います。学校側が責任を持つということには違いないのですが、指導していただく方との連携は非常に重要であると思います。

(北條教育長) 地域移行については、急遽国が、3年間を「集中取組」というスタンスから、「推進」に緩めたという経緯があるのですが、今議論されたように、多くの課題がありまして、保険の話にしても、地域移行となりますと学校のスポーツ振興センターが使えませんので、新たな保険に加入する必要があるございますし、とりわけ、この検討体制についてですが、これは「部活動との連携を考える会」は、検討事項にある様々な課題について、下調べをするワーキンググループのような理解でよろしいのでしょうか。

(小島課長) おっしゃる通りでございます。課題を洗い出すということが必要です。関係機関、関係団体からご意見をいただいて、それを上げていく会と考えていただいて良いと思います。

(北條教育長) そうすると、検討委員会における「審議」「承認する」という表現が相応しくないですね。その辺りを再度検討していただきたいと思っています。

(小島課長) はい、わかりました。

(北條教育長) また動きがありましたら報告をお願いします。

(柏木委員)

中学校部活動の地域移行は大きな取組だと思いますので、アンケート結果をまとめられましたら、こちらの教育委員会でも是非見せていただきたいと思います。

(北條教育長)

以上で本日の議事は全て終了いたしました。

以上をもちまして、第1回定例会を終了いたします。

(14 : 05 閉会)